

北海道電力ネットワーク株式会社道央南統括支店長

(北海道生産性本部苫小牧地区支部長)

黒須 僚子 (くろす ともこ) 氏



【略歴】

1967年生まれ。1991年小樽商科大学商学部管理科学科を卒業、同年4月北海道電力株式会社入社。2014年10月同お客さま本部札幌支店札幌南支社お客さまセンター課長、2017年4月同室蘭支店お客さまセンターグループリーダー、2019年1月同業務部部長(カイゼン担当)、経営企画室カイゼン推進室兼務、2022年5月同再生可能エネルギー開発推進部戦略グループリーダー、2024年6月北海道電力ネットワーク株式会社道央南統括支店長に就任。現在に至る。

近年、「トランスフォーメーション」と付く言葉が様々な場面で見かけるようになり、企業経営において一層重みを持つようになってきた。特に注目されているのが、デジタルトランスフォーメーション (DX) とグリーントランスフォーメーション (GX)。これらは単なる技術の導入や環境への対応に止まらず、まさに変革。企業の在り方や社会や環境との関わり方そのものを問い直す動きでもあると言える。

GXに関しては、国内随一の再エネ導入ポテンシャルを有する北海道にとっては大きなチャンス。ここ苫小牧では水素、アンモニア、CCUSなど脱炭素に向けた先進的な取り組みも始動している。また次世代半導体工場やデータセンターといったデジタル産業の立地に加え、関連企業の集積も今後期待できることから、GXとDXを同時推進するワット・ビット連携の可能性に満ちたエリアとして注目を集めている。

弊社もこの動きを下支えするため、再エネの導入拡大に向けた電力系統整備、大規模需要の進出といった将来動向に適切に対応するための次世代電力ネットワークの構築などをしっかり進めていきたい。

一方で、北海道の人口減少は全国平均を上回る速度で進行しており、電力業界全体においても人手不足は深刻な問題。電工さんなどの人財確保も急務となっており、業界が一体となって採用活動や業界全体のPR、イメージアップに取り組むプロジェクト「SO & HIGH PROJECT」を立ち上げた。※YouTubeでも動画配信 중이다、送電・配電の“そうはい”に掛けたラップ調の音楽と映像が斬新でカッコ良いので、ぜひご覧いただきたい。

また弊社では、グループ全体で約6年前にトヨタ式カイゼンを導入し、生産性向上に取り組んできた。カイゼンは業務を細分化、時間で見える化し、必要性の分析を何度も繰り返し、ムダなものは「なくす(N)」、無くせないなら「へらす(H)」、減らせないなら「かえる(K)」のNHKの観点でアプローチする。いかに先入観に捉われず現状否定できるかがカギとなり、まさに変革(トランスフォーメーション)に通じるものだと思う。最近ではDXとの組み合わせで相乗効果を高め、さらなる業務効率化・生産性向上、ひいては新たな価値創造にも繋がたいと考えているが、個人的にはそれを上手く機能させるには意識改革、一人一人が自分事として取り組むマインド作りが非常に重要だと感じている。

脱線するが、NHKといえば「新プロジェクトX〜挑戦者たち」の番組が好きで時々見ている。スケールや彼らの苦労とは比べ物にならないが、つい自分の仕事や経験と重ね合わせて見てしまう。一旦ミッションを達成してしまうと物寂しさを感じたり、過去が眩しく見えたりする場合があるが、課題や困難に向かっている時こそ、大変ではあるがやりがいを感じられる瞬間でもある。実際は成功や達成どころか、課題対応の連続で苦しい時が多いと思うが、そういう時こそ技術面、環境面、そして意識改革など、様々なトランスフォーメーションが強みになる。「終わりになき変革」に挑戦し続け、その中で楽しさを見い出しながら、何か少しでも未来に繋がる貢献ができたと思う。